

28. 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科部長 深堀光緒子

2023年度は新型コロナウイルス感染症が落ち着き院内の規制が緩和されたこともあり、通常とほぼ変わらない運営ができました。入院患者数、手術件数ともに昨年より増加し、耳鼻咽喉科領域の入院および手術を担う施設としての働きが出来たのではと感じています。

本年度の特徴は、頭頸部領域の急性感染症で広域抗菌薬やドレナージを要する患者さんが増加したことです。コロナに対する危機感が薄れ基本的な感染予防策の取り組みが低下し、また行動範囲が拡大し他者と接する機会が増加したことも影響したのではと推察します。

当科の新たな取り組みとしては、声帯麻痺や声帯萎縮に対する日帰り手術を開始しました。患者さんの機能改善、QOL改善に努めて参りたいと思います。ただ入院や手術前PCR検査は継続しておりますので、無症状でも直前にコロナ陽性が判明し直前で治療がキャンセルとなることも多く、また手術枠の問題もあり患者さんに対しご迷惑をおかけしたこともあったと思います。引き続き最善の医療が提供できるようスタッフ一同精進して参りたいと思います。

入院患者疾患別内訳（2023年）

病名	総数	急患	手術件数	性別	
				男	女
悪性腫瘍	87	5	53	60	27
悪性リンパ腫	19	0	19	9	10
下咽頭	19	3	6	19	0
中咽頭	14	1	4	10	4
甲状腺	12	0	11	4	8
喉頭	10	1	2	10	0
舌	5	0	3	4	1
唾液腺	3	0	3	2	1
転移性リンパ節	2	0	2	1	1
鼻腔、副鼻腔	2	0	2	1	1
悪性軟部腫瘍	1	0	1	0	1
咽頭・扁桃・喉頭疾患	127	47	76	69	58
慢性扁桃炎	41	0	41	17	24
扁桃周囲膿瘍	30	27	2	18	12
扁桃肥大	28	0	26	19	9
急性扁桃炎	7	7	0	3	4
急性喉頭蓋炎	5	5	0	1	4
扁桃周囲炎	4	4	0	2	2
慢性咽頭炎	2	2	0	1	1
その他	10	2	7	8	2
外耳・中耳・内耳疾患	41	1	39	25	16
中耳炎	24	0	24	12	12
中耳真珠腫	13	0	13	10	3
外耳炎	3	1	2	3	0
その他	1	0	0	0	1
口腔・唾液腺・顎	11	3	9	7	4
唾石症	7	0	7	5	2
顎下腺炎	2	2	0	1	1
その他	2	1	2	1	1
神経麻痺	8	2	1	5	3
顔面神経麻痺	8	2	1	5	3
鼻・副鼻腔疾患	50	0	50	35	15
慢性副鼻腔炎	27	0	27	20	7
鼻中隔彎曲症	10	0	10	7	3
副鼻腔真菌症	4	0	4	2	2
嚢胞	4	0	4	2	2
急性副鼻腔炎	3	0	3	2	1
その他	2	0	2	2	0
良性腫瘍	26	0	26	14	12
唾液腺	9	0	9	7	2
咽頭・喉頭	5	0	5	1	4
甲状腺	5	0	5	1	4
鼻腔・副鼻腔	5	0	5	3	2
その他	2	0	2	2	0
その他	57	23	31	31	26
突発性難聴	14	11	0	9	5
皮膚膿瘍	3	2	3	1	2
その他	40	10	28	21	19
総計	407	81	285	246	161